

# 「中小企業の経営診断実施要領」報告書

～ 診断着眼項目 ～

平成15年2月

社団法人 中小企業診断協会

## はしがき

現在、アセアン各国においては、中小企業振興に顕著な効果をあげている日本の中小企業診断制度に大きな関心を寄せており、この制度を自国に取り入れるため、我が国の中小企業診断士等専門家に対する派遣要請が増加しています。しかし、中小企業を診断支援する際の実施要領は、個々の派遣専門家に任せられており、中小企業診断を効果的に実施する上での経営診断実施要領が求められていました。

こうした中、社団法人 中小企業診断協会におきましては、平成14年度「日本自転車振興会補助事業」として、アセアン各国の経営診断の普及に資するための経営診断実施要領を英訳版および和文版にて作成しました。

本報告書の内容は、日本の中小製造業を主体とした経営診断実施要領を基に、診断の重点ならびに診断着眼事項について、「経営戦略」「販売・営業」「財務・会計」「人事・労務」「情報」「国際化・環境」「製品開発」「生産・技術」「資材・購買・外注」の9つの項目に分けて和文英訳し、とりまとめました。さらに、診断着眼事項に対するイエス・ノウの回答によって診断・支援をどのように発展させるかについても、具体例を挙げております。

もとより経済振興のための施策や経営診断の方策は、各国の実状に即して検討し、構築されるべきではありません。しかし、本報告書がアセアン各国に派遣された中小企業診断士等専門家の皆様にご参考になり、その支援活動の一助になれば幸いです。

最後に、本調査研究の実施に当たり、翻訳等をご担当いただきました方々に深い感謝の意を表します。

平成15年2月

社団法人 中小企業診断協会  
会 長 児 玉 清 隆

## 目 次

1 . 0 1	経営戦略 .....	1
2 . 0 2	販売・営業 .....	2 2
3 . 0 3	財務・会計 .....	3 9
4 . 0 4	人事・労務 .....	4 5
5 . 0 5	情報 .....	6 1
6 . 0 6	国際化・環境 .....	6 9
7 . 0 7	製品開発 .....	7 3
8 . 0 8	生産・技術 .....	7 7
9 . 0 9	資材・購買・外注 .....	8 8

注：以下の項目の頭につけられた「Y」または「N」に続く文は、チェックポイントについての質問に対して、「イエス」または「ノウ」との回答があった場合、次に診断・支援をどのように発展させるかをそれぞれ示しています。